

問 来年度の政策の基本的な考えは

答 村民目線で対応する



光風会
江田 五六 議員

問 ウィズコロナ時代を心豊かに生活できる環境作りが必要。来年度事業の主な4事業を伺う。本村は、水戸市を中心とした連携中枢都市圏の形成によって圏域化（広域行政）へと進む。村民生活に多くの課題が生じるが、対応策は。

答 構成する9市町村と協議を重ね、村としての成果を十分に検証しながら推進する。

問 脱炭素社会への喫緊の課題は。

答 省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの普及促進など、

環境にやさしいライフスタイルへの転換など、取り組みを着実に積み上げていく。

問 人生100年時代を楽しく、心豊かな村民のライフスタイル実現に何が必要か。

答 適度な運動の継続・バランスの良い食事・社会との繋がりが重要。仲間づくりにつながるような啓発や事業支援を引き続き行う。

問 予想されるあらゆる災害への対策は。

答 災害の発生を完全に防ぐことは不可能。その軽減には、恒久的な災害対策と災害時の効果的対応が重要。



だれもが100歳目指して万歳!万歳!

問 環境整備団体への補助制度創設を

答 必要な支援策を講じる



新政とうかい
おおうちのりお 大内 則夫 議員

問 里山の再生や保全、環境整備活動をする団体の経費は会費を充当している。この活動は、荒れ果てた自然の再生と、人と人のつながりを生んでいる。しかし、自分たちの力だけでは限界がある。安定的な活動を支えるための補助制度を提唱する。

答 行政の力だけでは限界があり、環境整備活動団体の協力が欠かせない。良好な自然環境の維持のため、必要な支援策を講じる。

問 区画整理地内の街路灯等の設置

答 現地を確認して対応する

問 区画整理事業は新しく住みやすい、安心安全で魅力あるまちづくりの創出にある。区画整理地内の街路灯、カーブミラー及びゴミ置き場は村主導で整備すべきである。

答 現在真っ暗な道路と危険な交差点は、現地を確認して対応する。新たに建築される住宅回りの街路灯、カーブミラーは村主導で整備する。ゴミ置き場は、必要に応じて村所有の土地利用も考える。



夜は真っ暗な区画整理地内の一角